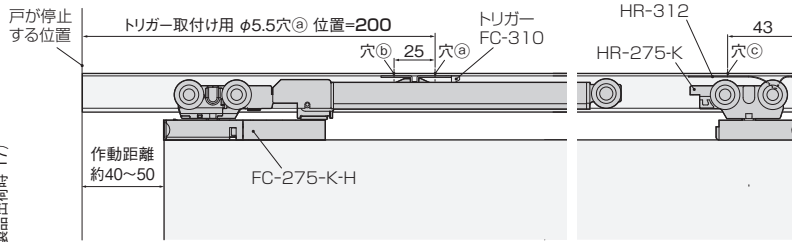
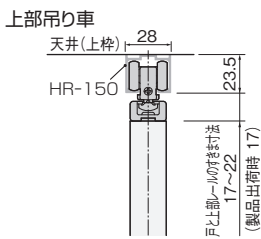


使用条件

本文200ページをご参照ください。

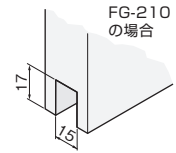
設計ガイド

■金具の納まり参考図

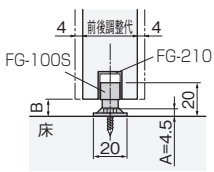


■戸の加工寸法参考図

下溝用ガイドレールの取付け加工寸法



下部ガイド



●戸の高さ寸法の求め方

戸の高さ = 枠の内寸高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールの最大すきま寸法(左図参照) - 3mm - A
 ※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で上下調整ができます。
 ※上部レールの高さは、HR-150(直付け用)=23.5mm、HR-130(つばの厚さ)=1.5mmです。
 ※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

●B(下すきま寸法)の求め方

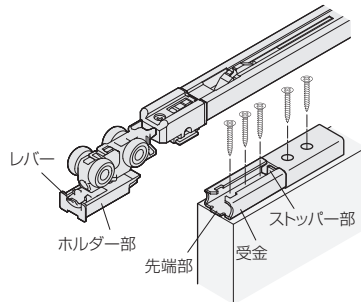
B = 枠の内寸高さ - 戸の高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールのすきま寸法
 ※戸と上部レールのすきま寸法は、左図の範囲内で任意の寸法を設定できます。

施工ガイド

■金具の取付け方法

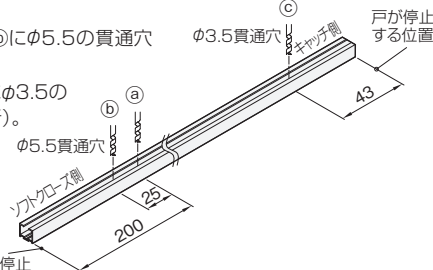
1. 上部吊り車の取付け

- ホルダー部のレバーを押して、ホルダー部と受金を分離します。
- 右図のように引戸の上面木口両端部に受金の先端部をそろえて、ねじで取付けます。受金の向きは、ストッパー部分が戸の奥側になるようにします。



2. レールの穴あけ

- レール芯の所定位置①にφ5.5の貫通穴をあけます(2ヶ所)。
- レール芯の所定位置②にφ3.5の貫通穴をあけます(1ヶ所)。



ご注意

レール内に残った切り粉は取除いてください。

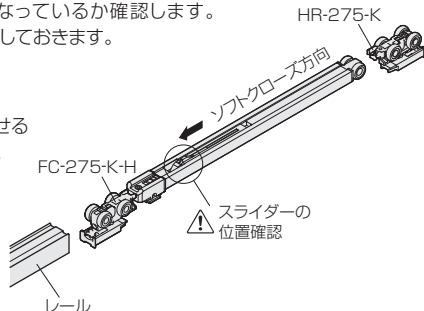
3. レールの取付け

- スライダーが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押し戻しておきます。

ご注意

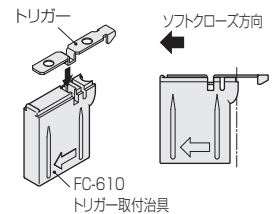
ソフトクローズを正しく動作させるために、必ず確認してください。

- レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
- 上枠にレールを取付けてください。



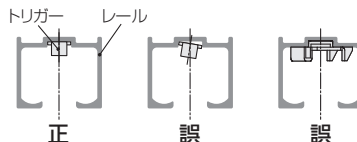
4. トリガーの取付け

- トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
- 「2.レールの穴あけ」であけた穴①に右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。



ご注意

- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当ててください。
- トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。

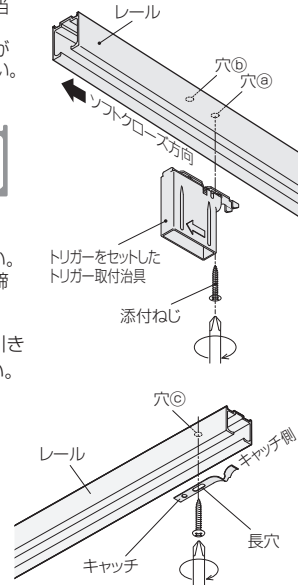


- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。

- 完全に固定されたら、取付治具を下に引き抜き、残りの穴②をねじ止めしてください。

5. キャッチの仮固定

- 「2.レールの穴あけ」であけた穴①に、キャッチの長穴を合わせて仮固定します。もう一方の穴は、戸の位置調整が完了するまで固定しないでください。

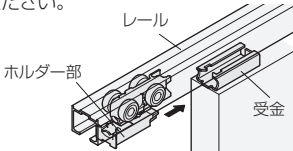


6. 下部ガイドの取付け

- 下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

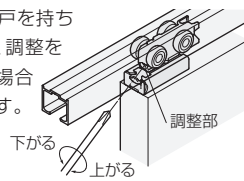
■戸の吊込み

- 下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。
- 受金にホルダー部をしっかりと差込みます。
※しっかりと差込み、抜けないことをご確認ください。



■戸の位置調整

- 戸を吊ったままで、吊車のねじを回すと戸の上下調整ができます。
※調整時に戸を持ち上げると、調整がしやすい場合があります。



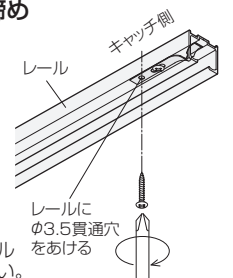
※ソフトクローズの速度調整はできません。

■キャッチ固定ねじの本締め

- 戸のキャッチ位置を決めて、キャッチを固定します。レールの固定穴位置にφ3.5の貫通穴をあけ、ねじ止めしてください。

ご注意

レール内に残った切り粉は、レールクリーナーなどで取除いてください。



ドア錠
1
丁番
2
スライド
丁番
3
開き戸
金具
4
引戸錠
5
引戸
金具
6
上吊式
引戸金具
7
移動
間仕切り
金具
8
折戸
金具
9
室内用
アルミ建具
10
取手・
引手
11
スライド
レール
ワイヤー
バスケット
12
収納・
吊金具
13
その他の
家具金物
14
物干金具・
諸金具
15
真鍮
アンティーク
16
設計
施工
ガイド
会社案内